

結女だより

2019年11月1日発行

◎企業組合ワーカーズ・コレクティブ結女

西東京市泉町3-15-28

電話042-425-3800



台風に備えて

台風の影響はどうでしたか。先の台風で被害を受けた千葉の人々が経験を踏まえ、災害時の備蓄や体制について知らせてくれていました。

日頃からの備えをもう一度確認したいものです。

めがね、毎日飲んでいる薬、飲料水、緊急連絡先を書いたもの、読みかけの本、甘いお菓子等々、まとめてそばに置くと良いですね。

台風が接近している間は、大雨や強風による事故に巻き込まれないように、なるべく外へ出ないようにしてください。

防災機関などからの避難準備情報に注意し、市町村から避難勧告や避難指示があったら、すばやく避難してください。ご近所付き合いは、救助や避難所暮らしの際に大きな力となります。普段からコミュニケーションを取りあいましょう。

《十一月・温暖化と日本》

10月、日本に強烈な台風が襲撃し、全国の各所で川が氾濫し未だに復旧作業は続いています。ニュースを見ると先の見えない重い気持ちになります。被災者の方たちの気持ちはいかにばかりかと思えます。

地球温暖化によって気象は大きく変化しているようです。海面が上昇すると土壌が塩性化、水没、洪水、高潮、津波などの害を受けやすくなり、海拔100メートル未満におよそ8割の人が住んでいる日本にとっては深刻です。

しかし温暖化を引き起こす二酸化炭素排出量世界5位も日本なのです。この台風では農作物が甚大な被害を受けました。

結女では地場野菜も使いますが、近くの八百屋さんからも仕入れています。今後農作物がどうなっていくのか心配です。

【ひとことコラム】

お昼ご飯を食べながら出てきた話を
少しご紹介します。

季節が巡り、今年は少し遅く
金木犀が咲きました。
花には不思議な力があるよう
で、花をめぐりその時々の思
い出が蘇ります。
薔薇や桔梗、悲しかったり嬉
しかったり、花によりその時
の情景が、走馬灯のように浮
かびます。
ちなみに、金木犀の他に銀木
犀もあるそうです。
家の近くに巨木があります。
私にとっては、金木犀は少し
つらい思い出ですが・・・。

青森の枝豆

枝豆といえば夏真っ盛りのビー
ルのお供ですが、青森県津軽地
方には、秋が旬の「毛豆」とい
う枝豆があります。さやの外側
は茶色いふさふさの毛で覆わ
れています。その毛は品種改良
されていない、昔の姿のもので、
種は自家採種で代々作り続け
ているそうです。この秋、夫の田
舎からたくさん送られてきまし
たが、少し時間をかけて茹で
ると最高に美味しく、なんだかフ
ルーツのような甘さがありました。
津軽では茹でた毛豆を塩漬
けし発酵させて食べるそうで
す。こたつに入ってビールのお
供にするそうです。

ボジョレー・ヌーヴォーとは、フ
ランスのブルゴーニュ地方ボジョ
レー地区で作られる新酒の赤ワイ
ンで、毎年11月の第3木曜日
午前0時に販売が解禁されます。
(2019年は11月21日)
その年に収穫されたブドウで造ら
れた新酒で、ブドウが良質である
かを確認するためのものでもあり
ます。
軽快で渋みがほとんど無くやさ
しい口当たりで、はじめての方でも
飲みやすいワインとされています。
ちなみに日本はボジョレー輸
入量第1位で全生産量の約4分
の1を占めています。

11月11日は介護の日です。
平成20年、厚生労働省により
介護の日が定められました。
「いい日、いい日、毎日、あつ
たか介護ありがとう」の「いい
日、いい日」をとって介護の日
が11月11日になったとされ
ています。
厚生労働省では「介護の日」中
央行事の他、「介護の日」広報
用ポスターの公募。地方公共団
体や関連団体では、介護に関す
る作文や写真の募集、介護フォ
ーラムなど地域の実情に合わせて
様々なイベントが開催をされ
ています。